

戦争法案審議などやれる事態ではない！ 法律もないのに自衛隊の「作戦」次つき明るみに 国民ないがしろ、憲法違反、国会無視…！

小池晃日本共産党参院議員が8月11日の参院特別委員会で取り上げ、政府を立ち往生させ、委員会が散会となった「自衛隊内部文書」問題、12日沖縄県うるま市沖の米軍艦艇に墜落した米軍ヘリコプターに陸上自衛隊特殊部隊メンバーが同乗問題など、戦争法案のうち自衛隊法の「改正」の審議中に、あたかもその成立を見越し、先取りしている実態が次つきさらけ出されています。

国民の徹底審議の要求や不安や疑問を解明するどころか、さらに不信を強めるものです。

憲法違反の行為であることも明らかになっています。そして、審議中であるにもかかわらず自衛隊の勝手な行動は国会無視以外のなにものでもありません。

中谷防衛大臣の辞任は当然、安倍首相の責任も

中谷防衛大臣は、答弁不能に陥って、議場で立ち尽くすだけが能ではありません。辞職して責任を明らかにするのが当然です。安倍首相は自らの責任と任命した責任を取らなければなりません。ましてや安倍首相は、誰もが「巧言令色鮮し仁（こうげんれいしょくすくなしじん）」と受け止めているごまかしの「70年談話」をもてあそんだり、靖国神社に参詣したくてうずうずし、玉串を「奉納」している場合とちがうことは明白です。

2つの問題の解明なくして審議継続なし

この2つの問題が解明されない限り、審議の再開や継続はありえません。国会無視のこの重大な重大に正しく対応できなければ、国会の位置も権威も失墜し、一層の政治不信を生むこととなります。磯崎首相補佐官の責任問題も残っています。

参院の審議時間は41時間、世論と運動で必ず廃案へ

8月11日現在で、参議院の審議時間は、7月28日の総括質疑以来、7日間41時間5分にすぎません（参議院議会事務局資料）。しかもこの間にも速記中止が相次ぎ、その回数は27回に及んでいます。磯崎補佐官の参考人招致もありました。政府をして審議維持不能の事態に追い込んでいます。この先、世論と運動の強化で「問題の解明なしに審議なし」、必ず廃案を実現しましょう。

「8・30大行動」の準備着々、期待高まる

「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人全国100万人大行動」（戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会呼びかけ）は、メディアも取り上げ（14日付日刊ゲンダイ「老若男女が『安保法案反対！』全国一斉“100万人集会”の衝撃」など）、各地で呼応する計画が具体化されています。

宮城県の九条の会は、▽宮城県内九条の会連絡会などがバス2台100人で国会周辺へ、▽仙南地域の12個の九条の会が、大河原駅前で集会（15時～）とデモ、▽名取九条の会が、宮城生協名取店で宣伝（15時15分～）などを準備しています。